

「岐阜県発日本一、世界一」調査票

部(局):教育委員会

【10月分】

課(室):スポーツ健康課

その1

担当者:津田行代(内線)3589

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	大会、競技会の概要(意義)	
第68回国民体育大会					
自転車	男子4kmチームパーシュート (団体追抜競走)	1位	H25.10.1	岐阜選抜 (矢野, 相馬, 渡邊, 橋本)	岐阜選抜は予選で大会記録を更新し、決勝では2位に大差をつけて7年ぶりの優勝を果たした。 (東京都立川市:立川競輪場)
	成年男子1kmタイム・トライアル	1位	H25.10.1	相馬 義宗 (朝日大1年)	相馬は決勝のスタートから猛烈なペースで飛び出し、2位と0.082秒差で競り勝ち初優勝を果たした。 (同上)
	成年男子ポイントレース	3位	H25.10.3	橋本 英也 (鹿屋体育大2年)	橋本は予選で進路妨害による落車アクシデントもあったが、決勝では意地の力走を見せ3位に食い込んだ。 (同上)
サッカー	成年男子	1位	H25.10.2	FC岐阜SECOND	FC岐阜SECONDは接戦を勝ち上がり、決勝も地元東京選抜に1-0で競り勝ち48年ぶりの優勝を果たした。 (東京都調布市:味の素スタジアム他)
ボウリング	成年男子団体(2人チーム)	3位	H25.10.2	岐阜選抜A (高橋俊彦, 安里秀策)	岐阜選抜Aは前日の予選を6位タイで通過し、決勝の3ゲームで最高得点をマークしたが惜しくも3位となった。 (東京都東大和市:東大和グランドボウル)
卓球	少年女子	1位	H25.10.3	岐阜選抜 (加藤知, 加藤杏, 王)	岐阜選抜は準決勝、決勝をともに2-0から2-2に追いつかれたが、接戦を制し19年ぶりの優勝を果たした。 (東京都府中市:郷土の森総合体育館)
	少年男子	3位	H25.10.3	岐阜選抜 (坂野, 郭, 酒井)	岐阜選抜は準決勝で優勝したチームを相手に1番手が先勝したが、その後3連敗を喫して2年連続3位となった。 (同上)
馬術	少年トップスコア	1位	H25.10.7	緋田 碧 (岐阜農林高3年)	緋田は競技中のトラブルにもバランスを崩すことなく、1460点を記録し見事2連覇を達成した。 (東京都あきる野市:あきる野市特設馬術競技場)
	成年男子馬場馬術	2位	H25.10.3	小川 尚也 (互洋商事)	小川は65.499の高い得点率を記録したが、最後に演技した地元東京の選手に逆転され惜しくも2位となった。 (同上)
	少年男子ダービー	3位	H25.10.3	中村 優太 (各務原高1年)	中村は3選手による優勝決定戦で、6番目の障害でバーを落とした減点が響いて惜しくも3位となった。 (同上)
カヌー	成年男子スプリント・カヤックシングル500m	1位	H25.10.5	渡邊 大規 (岐阜県体育協会)	渡邊は圧倒した力を発揮し、500mを1分43秒797で2連覇、200mも38秒803で優勝し、見事2冠を達成した。 (東京都大田区:京浜南運河特設カヌー競技場)
	成年男子スプリント・カヤックシングル200m	1位	H25.10.7		
	成年男子ワイルドウォーター・カヤックシングル1500m	1位	H25.10.4	渡辺 正浩 (八百津高教員)	渡辺は1500mで2位に約3秒差をつけて見事6連覇を達成、スプリントでは惜しくも0.15秒で敗れ2位となった。 (東京都青梅市:御岳溪谷特設カヌー競技場)
	成年男子ワイルドウォーター・カヤックシングルスプリント	2位	H25.10.7		
	少年女子スプリント・カヤックシングル200m	1位	H25.10.7	柘植 み奈 (八百津高3年)	柘植は200mで2位に約2秒の大差をつけて優勝、500mでは2位争いを約0.2秒の僅差で制して2位となった。 (東京都大田区:京浜南運河特設カヌー競技場同上)
	少年女子スプリント・カヤックシングル500m	2位	H25.10.5		
ライフル射撃	成年女子ワイルドウォーター・カヤックシングルスプリント	1位	H25.10.7	畑 良枝 (トヨタカローラ岐阜)	畑は1回目で43秒69の記録をたたき出し、2回目でこの記録を抜く選手が現れず、見事3連覇を達成した。 (東京都青梅市:御岳溪谷特設カヌー競技場)
	成年女子スプリント・カヤックシングル200m	3位	H25.10.7	辻岡 さやか (トヨタカローラ岐阜)	辻岡は予選を組1着で決勝進出を決め、決勝では47秒693で3位になった。 (東京都大田区:京浜南運河特設カヌー競技場)
	少年男子エア・ライフル立射(60発)	1位	H25.10.5	小林 由齊 (関有知高2年)	小林は予選を4位で通過し、決勝では大会新記録となる202.5点をたたき出し見事優勝を果たした。 (埼玉県秩父郡:埼玉県長瀬射撃場)
	成年男子ライフル三姿勢(120発)	2位	H25.10.4	橋爪 一馬 (関有知高教員)	橋爪は予選を8位で通過し、決勝の最後に会心の10.7点をマークして442.3点で2年連続2位となった。 (同上)
	成年男子エア・ライフル立射(60発)	2位	H25.10.4	中尾 圭吾 (濃飛倉庫運輸)	中尾は予選を2位で通過し、決勝では10点前半半のスコアでまとめ197.6点で2年連続2位となった。 (同上)
成年女子エア・ライフル伏射(40発)	3位	H25.10.7	松巾 亜由 (立命館大1年)	松巾は上位2名が日本新記録を出しハイスコアを競い合った決勝で、416.8点で3位となった。 (同上)	

大会、競技会名 (主催者名)		成績	入賞年月日	入賞者名、団体	大会、競技会の概要(意義)
第68回国民体育大会					
陸上競技	成年女子ハンマー投	2位	H25.10.4	武川 美香 (スズキ浜松AC)	武川は2位以下が僅差で拮抗する展開で、1位と3m28差の59m10を記録し2位となった。 (東京都調布市:味の素スタジアム)
	成年男子ハンマー投	2位	H25.10.7	田中 透 (岐阜県体育協会)	田中は1投目から安定した記録を刻み上位をキープし、最後の1投で66m19をマークし2位となった。 (同上)
	成年女子5000m	3位	H25.10.4	安藤 友香 (時の栖)	安藤は終盤4位まで順位を落としたが、ラストで追い上げ1位と3秒50差の15分46秒53を記録し3位となった。 (同上)
	少年少女A 3000m	3位	H25.10.8	青木 和 (益田清風高2年)	青木は中盤すぎから集団を抜け出し、最後まで粘り強い走り自己ベストとなる9分9秒55で3位になった。 (同上)
ホッケー	成年女子	1位	H25.10.5	岐阜選抜	降雨によるグラウンドコンディション不良で決勝が中止となり、岐阜選抜の6連覇が決まった。 (東京都日野市:浅川スポーツ公園グラウンド)
	少年女子	1位	H25.10.6	岐阜各務野高	岐阜各務野高は試合終了間際に決勝点をあげ1-0で競り勝ち、4年連続25度目の優勝を果たした。 (東京都日野市:日野市民陸上競技場他)
	少年男子	3位	H25.10.5	岐阜選抜	降雨によるグラウンドコンディション不良で3位決定戦が中止となり、岐阜選抜の3位が決まった。 (同上)
レスリング	成年男子フリースタイル96kg級	1位	H25.10.5	山口 剛 (ブンロード)	山口は圧倒的な強さで勝ち上がり、決勝も1分でテクニカルフォール勝ちし見事2連覇を達成した。 (東京都文京区:文京スポーツセンター)
	少年男子グレコローマンスタイル55kg級	1位	H25.10.7	松井 涼 (岐阜工高3年)	松井は決勝で世界カデット選手権の優勝者と対戦し、豪快な腰投げでテクニカルフォール勝ちし優勝を決めた。 (同上)
	成年男子フリースタイル84kg級	3位	H25.10.5	鈴木 聖二 (岐阜工高教員)	鈴木は準決勝で優勝した選手を相手にタックルを決めるなど奮闘したが、惜しくも敗れ3位となった。 (同上)
	少年男子フリースタイル50kg級	3位	H25.10.5	長沼 政哉 (岐阜工高3年)	長沼は粘り強く接戦を制して勝ち上がったが、準決勝で地元東京の選手に敗れ3位となった。 (同上)
	成年男子グレコローマンスタイル55kg級	3位	H25.10.7	杉本 涼輔 (中央大4年)	杉本は1回戦から接戦をものにし勝ち上がったが、準決勝で敗れ3位となった。 (同上)
	成年男子グレコローマンスタイル66kg級	3位	H25.10.7	倉野 真之介 (法政大職員)	倉野は準決勝で優勝した選手を相手に最後まで粘り強く奮闘したが、3-5で惜敗し3位となった。 (同上)
	少年男子グレコローマンスタイル96kg級	3位	H25.10.7	竹内 亮巨 (岐南工高3年)	竹内は準決勝で優勝した選手を相手に先攻しポイントを重ねたが、逆転を許し7-8で惜敗し3位となった。 (同上)
フェンシング	少年女子フルーレ	2位	H25.10.5	岐阜選抜 (伊藤, 馬場, 飯田)	岐阜選抜は準決勝までを2-0で圧倒して勝ち上がったが、決勝では地元東京選抜に1-2で惜敗し2位となった。 (東京都台東区:台東リバーサイドスポーツセンター体育館)
	少年男子フルーレ	3位	H25.10.6	岐阜選抜 (鈴木, 伊藤, 古田)	岐阜選抜は準決勝で優勝した地元東京選抜に敗れたが、3位決定戦を2-1で競り勝ち3位となった。 (同上)
ウエイトリフティング	少年男子53kg級スナッチ	2位	H25.10.5	西尾 亜慰都 (土岐商高3年)	西尾はスナッチ85kg、クリーン&ジャーク105kgを挙げ、ともに自己ベストタイの記録を出して2位となった。 (東京都国立市:くにたち市民総合体育館)
	少年男子53kg級クリーン&ジャーク	2位	H25.10.5	西尾 亜慰都 (土岐商高3年)	西尾はスナッチ85kg、クリーン&ジャーク105kgを挙げ、ともに自己ベストタイの記録を出して2位となった。 (東京都国立市:くにたち市民総合体育館)
山岳	少年男子ボルダリング	3位	H25.10.6	岐阜選抜 (亀山遼平, 日比野良祐)	岐阜選抜は予選を8位で通過し、決勝では課題を次々とクリアすることで順位を上げ3位となった。 (東京都東久留米市:東久留米市スポーツセンター屋外・屋内特設会場)
	バドミントン	成年女子	3位	H25.10.7	岐阜選抜 (脇田, 江藤, 山本)
ボクシング	成年男子フライ級	1位	H25.10.8	田中 亮明 (駒沢大2年)	田中は決勝で昨年の全日本選手権のチャンピオンに判定勝ちし、見事3大会連続優勝を果たした。 (東京都日野市:日野市市民の森ふれあいホール)
	成年男子ウェルター級	3位	H25.10.7	近藤 広貴 (東京農業大3年)	近藤は準決勝で優勝した選手を相手に最後まで粘り強く奮闘したが、判定で惜しくも敗れ3位となった。 (同上)

大会、競技会名 (主催者名)		成績	入賞年月日	入賞者名、団体	大会、競技会の概要(意義)
第6回東アジア競技大会					
陸上競技	女子10000m	1位	H25.10.8	清水 裕子 (積水化学)	清水は大会新記録となる32分50秒42を樹立し、見事優勝を果たした。 (中国/天津)
	女子400m障害	2位	H25.10.7	青木 沙弥佳 (東邦銀行)	青木は地元中国の選手に次いで、58秒06で2位に入賞した。 (同上)
ホッケー	女子	1位	H25.10.12	日本 (中川, 坂井, 及川, 永井葉, 永井友)	県出身及びゆかりの選手5名を含む日本は、決勝で地元中国に4-3で競り勝ち見事優勝した。 (同上)
	男子	2位	H25.10.13	日本 (粥川, 橘, 川上, 井島, 山部)	県出身及びゆかりの選手5名を含む日本は、決勝で韓国に1-2で惜敗し2位となった。 (同上)
野球	男子	1位	H25.10.14	日本 (東明 大貴)	東明を含む日本は、決勝で韓国に4-2で勝利し見事優勝した。 (同上)
水泳競技	男子100m平泳ぎ	2位	H25.10.10	野村 陵太 (大垣北SS)	野村は100mと50mでともに日本選手とのトップ争いを展開したが、両種目で2位となった。 (同上)
	男子50m平泳ぎ	2位	H25.10.14		
	女子100m平泳ぎ	3位	H25.10.12	今井 月 (本巣SS)	今井は100mで1分9秒08、200mで2分26秒03を記録し、両種目で3位となった。 (同上)
	女子200m平泳ぎ	3位	H25.10.14		
バレーボール	女子	2位	H25.10.12	日本 (川島 里華)	川島を含む日本は、決勝で地元中国に0-3で敗れ2位となった。 (同上)
バスケットボール	女子	2位	H25.10.13	日本 (宮元美智子, 王新朝喜)	宮元と王の2名を含む日本は、5チームによるリーグ戦で3勝1敗、当該チーム間の得点率で惜しくも2位となった。 (同上)
自転車	男子4000m個人追い抜き	2位	H25.10.14	橋本 英也 (鹿屋体育大2年)	橋本は予選を1位で通過したが、決勝は終始リードを許し4分39秒547で惜しくも2位となった。 (同上)
ボウリング	男子3人チーム戦	3位	H25.10.10	日本 (安里秀策)	安里を含む日本は、最終ゲームまで2位争いを展開したが惜しくも10ピン差で敗れ3位となった。 (同上)
	男子5人チーム戦	3位	H25.10.12	日本 (高橋俊彦, 安里秀策)	高橋と安里の2名を含む日本は、後半トップの韓国に迫ったが最終ゲームで突き放され3位となった。 (同上)
平成25年度全日本学生グレコローマン選手権大会					
	96kg級	1位	H25.10.18	横井 健人 (中京学院大4年)	横井は投げ技で積極的に攻め続ける試合展開で、決勝ではテクニカルフォール勝ちして初優勝を果たした。 (東京都世田谷区:駒沢体育館)
	120kg級	2位	H25.10.18	津田 大健 (中京学院大2年)	津田は決勝で同級の世界選手権日本代表選手と対戦し、得意技で先制したが惜しくも敗れ2位となった。 (同上)
第7回日本ユース陸上競技選手権大会					
	女子100m	2位	H25.10.19	新木 詩乃 (長良高1年)	新木は予選を11秒92で組1着通過し、決勝では0.01秒差の11秒96で惜しくも2位となった。 (愛知県名古屋市:瑞穂公園陸上競技場)
	女子棒高跳	3位	H25.10.18	若園 茜(県岐阜商高2年)	若園は3m40を2回目の試技で成功し、3位タイとなった。(同上)
	女子走高跳	3位	H25.10.19	石原 里紗(美濃加茂高2年)	石原は1m67を1回目の試技で成功し、3位タイとなった。(同上)
	男子4×100m	3位	H25.10.20	県岐阜商高(井口, 松橋, 立川, 矢橋)	県岐阜商高は0.01差で後続をかわし、41秒51で3位に入賞した。(同上)
第31回全日本ジュニア新体操選手権大会					
	男子個人総合	1位	H25.10.19		
	男子個人種目別スティック	1位	H25.10.18		
	男子個人種目別リング	1位	H25.10.18	安藤 梨友 (NPOぎふ新体操クラブ)	安藤は種目別全4種目で9.20点以上のハイスコアで1位となり、個人総合では37.025点で見事3連覇を果たした。 (東京都渋谷区:国立代々木競技場第一体育館)
	男子個人種目別ロープ	1位	H25.10.19		
	男子個人種目別クラブ	1位	H25.10.19		

その4

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	大会、競技会の概要(意義)
第31回全日本ジュニア新体操選手権大会				
女子個人種目別リボン	1位	H25.10.19	鈴木 歩佳 (NPOぎふ新体操クラブ)	鈴木は種目別リボンで13.500点で見事優勝し、種目別ボールでは2位、個人総合では惜しくも4位となった。 (同上)
女子種目別ボール	2位	H25.10.18		
女子団体	2位	H25.10.20	NPOぎふ新体操クラブ	NPOぎふ新体操クラブは団体の女子で2位、男子で3位となり、男女ともに上位入賞を果たした。 (同上)
男子団体	3位	H25.10.20		
2013世界形柔道選手権大会				
固の形	1位	H25.10.19	中山 智史(中山接骨院) 林 聖治(三橋接骨院)	中山(取)と林(受)は19組が参加した予選を勝ち上がり、決勝は2位に12点差をつけて見事2連覇を達成した。 (京都府京都市:京都市武道センター)
極の形	1位	H25.10.20	今尾 省司(中和医療専門学校教員) 清水 和憲(アサヒテック)	今尾(取)と清水(受)は21組が参加した予選を勝ち上がり、決勝は2位に18点差をつけて見事2連覇を達成した。 (同上)
第49回全国社会人サッカー選手権大会	3位	H25.10.23	FC岐阜SECOND	FC岐阜SECONDは準決勝で優勝したチームに敗れたが、3位決定戦は3-1で快勝し3位となった。 (長崎市島原市:島原市宮陸上競技場他)
第62回男子全日本学生ホッケー選手権大会	3位	H25.10.23	朝日大	朝日大は準決勝で優勝したチームに敗れたが、3位決定戦は3-0で快勝し3位となった。 (埼玉県飯能市:阿須運動公園ホッケー場他)
第44回ジュニアオリンピック陸上競技大会				
A女子200m	2位	H25.10.25	伊藤 有那 (西部中3年)	伊藤は予選を組1着、準決勝を組2着で通過し、決勝は1位と0.67秒差の25秒51で惜しくも2位となった。 (神奈川県横浜市:日産スタジアム)
A男子100m	2位	H25.10.26	野原 幹汰 (池田中3年)	野原は予選、準決勝をともに組2着で通過し、決勝は1位と0.12秒差の11秒24で惜しくも2位となった。 (同上)
ABC男子共通4×100m	3位	H25.10.27	岐阜選抜 (山田, 遠藤, 福田, 野原)	岐阜選抜は予選、準決勝をともに組1着で通過し、決勝では42秒98の県中学新記録を樹立し3位となった。 (同上)
平成25年度日本カヌーワイルドウォーター選手権大会 女子カヤックシングルスプリント	1位	H25.10.26	畑 良枝 (トヨタカローラ岐阜)	畑は2位と0.04秒の僅差を制して、43秒31で見事優勝を果たした。 (山口県萩市:阿武川特設カヌー競技場)
第97回日本陸上競技選手権リレー競技大会 女子4×100m	1位	H25.10.26	青木 沙弥佳 (東邦銀行)	青木は東邦銀行の第3走者として出場し、2位を0.47秒差でかわして45秒49で見事2連覇を果たした。 (神奈川県横浜市:日産スタジアム)
平成25年度全日本社会人ライフル射撃競技選手権大会				
男子エアピストル	3位	H25.10.26	道家 祐一 (岐阜県警)	道家は本選を6番目の点数で通過し、ファイナルは177.0点で3位となった。 (長崎県長崎市:長崎県小江原射撃場)
女子エアライフル伏射	3位	H25.10.26	手塚 洋子 (岐阜大講師)	手塚は上位2名が大会新記録を出した高得点に追随し、410.7点で3位となった。 (同上)
2013全日本社会人新体操選手権大会 男子団体	1位	H25.10.27	アルフレッサ日建産業	アルフレッサ日建産業は18.325点で見事3連覇を果たし、来月の全日本選手権大会への出場権を獲得した。 (山形県山形市:山形市総合スポーツセンター)
第20回全日本スピードスケート距離別選手権大会 女子1000m	2位	H25.10.27	松田 有幾 (十六銀行)	松田は1位が国内最高記録を樹立した高速レースで、1分17秒46で2位となった。 (長野県長野市:長野オリンピック記念アリーナ(エムウェーブ))
第26回全国少年フェンシング大会(フルール団体戦)				
小学4・5・6年男子の部	1位	H25.10.27	岐阜県混成 (馬場, 貝沼, 田内, 大倉)	岐阜県混成チームは27本のリレー方式で争った決勝で、最後の1本勝負を制し27-26で勝利し見事優勝した。 (京都府乙訓郡:大山崎町体育館)
小学1・2・3年男子の部	3位	H25.10.27	はしまモアクラブ (福田, 小島, 高橋)	はしまモアクラブはプール戦を勝ち抜き、トーナメント戦の結果3位となった。 (同上)